

市長の選挙公約について



山口 剛一
議員

「内牧公園のテーマパーク化に未来思考で取り組む」とされています。日本大百科全書によれば、テーマパークとは従来型の遊園地と異なり、入場者の想像力に働きかけるアイデア（テーマ）によって全ての設備を組み立て、遊びを演出する大規模娯楽施設。入場者が入園と同時にテーマの魅力に捉えられ、時間を忘れて物語の世界に浸ってしまうようにつくられた遊びの空間とあります。

舞浜の東京ディズニーランドや、飯能市のムーミンバレーパークなどを連想しますが、選挙公約での「未来思考で取り組む、内牧公園のテーマパーク化」とは、どのようなことなのでしょう。

○市長

内牧公園のテーマパーク化については、現在、市内の方々から大変好評をいただいております。遊具をリニューアル

しているアスレチックと併せて、例えば農産物の直売所など、遊びと食の要素を組み合わせ、1日楽しめる魅力的なテーマパークとしての可能性を、さまざまな方のご意見をいただいで検討していきたいと思っております。

未来思考とは、内牧地域の広大な緑と自然や果樹栽培など、地域特性を十分に生かし、未来を担う若者のアイデアを取り入れ、子どもから高齢者まで自然に触れ合いながら、誰もがわくわくするような空間づくりをイメージしています。

豊春駅東口広場整備事業と春バスの乗り入れについて



水沼日出夫
議員

豊春駅東口広場整備事業の進捗状況や整備効果と完成後乗り入れ予定の春バスについて詳しい内容を伺います。

○都市整備部長

整備の進捗状況については、本年7月から着手し、10月までに豊春駅前交番や豊春駅駐輪場前の側溝、歩道のアスフ

イエナプラン教育について



武 幹也
議員

令和4年度にイエナプラン教育に完全移行する予定の公立小学校について、初めての報道発表がありました。国の中央教育審議会は本年1月の答申では「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び、協働的な学びの実現」を掲げています。

従来型の一斉・画一・形式型の教育や授業を見直す機運が高まる中でイエナプラン教育校のスタートです。「イエナプラン教育」は、学年の異なる異年齢の子どもたちが同じ教室で一緒に楽しく学ぶことは伺っていますが、本市の異年齢集団による教育について伺います。

○学務指導担当部長

異年齢集団による教育活動として、小学校の生活科で2年生がさまざまな企画をして、1年生を招待する活動を行ったり、運動会で上級生がリーダーシップを発揮して、下級

生をサポートしながら盛り上げたりする活動を通して、上級生はリーダーとしての意識を育み、思いやりの気持ちを持つことができます。また、下級生が上級生の姿を見て学んでいくことも可能です。

○市長

本市においてどうすることが子どもたちにとってふさわしいか、今後教育委員会と連携を図り研究していきます。

このほか
○LGBT・性の多様性の尊重について
○（仮）こども基本条例について



異年齢の子どもたちで学ぶイエナプラン教育（イメージ）

選挙について



榛野 博
議員



10月の市長選挙で、その仕組みが市民に理解されていないと感じた。そこで選挙管理委員会や警察など選挙に関わる組織はどのようなものがあり、その役割を伺います。岩谷市長の陣営は、選挙管理委員会や警察より選挙活動などについて指摘はあったか。あった場合は、どう対応したのか伺います。また、選挙期間中に確認団体はポスターに証紙を貼り掲示できるが、同じ場所にもかかわらず、証紙が貼っていないものがあったか、ということか伺います。

○選挙管理委員会事務局長

役割として、選挙管理委員会は、選挙が滞りなく執行できるよう準備・調整の事務を行い、明るい選挙の実現や投票率向上に向けた啓発活動などに取り組んでいます。警察は、選挙違反などの取締りを行うものです。その他の関係機関として、県選管が技術的

な助言などをしており、選挙が滞りなく執行できるよう取り組んでいます。

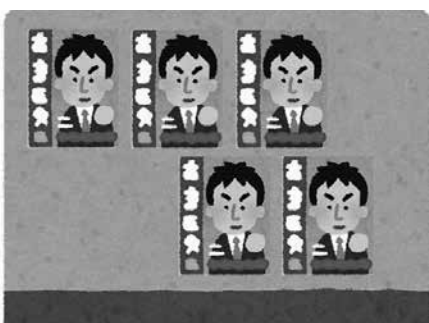
○市長

個人はありませんが、政治団体に対して、掲示したポスターの指摘があり、適切な対応をお願いしていました。

ポスターの掲示については、確認団体による政治活動として規定に基づいた活動をお願いしていましたが、規定に反する指摘があり、適切な対応に努めてきました。

このほか

○旧宝珠花小学校の跡地活用について



同じ場所に何枚も貼ってある選挙ポスター（イメージ）

（仮称）科学技術学習児童館について



木村 圭一
議員



①（仮称）科学技術学習児童館の建設については、昨年12月に基本構想、計画案の概要について説明がありました。その後の進捗状況と課題について伺います。

②せつかく造るのであれば、関連する学校教育と連携して活用していただくことや、児童生徒が自由に自習できる場所が少ないとの声があることから、このような対応ができる総合的な（仮称）科学技術学習児童館を造っていただきたいと思えます。また、建設候補地は、既存公共施設のリニューアルや公有地の活用などを検討し、市民が納得できる候補地を選定していただきたいと思えますが、市長はこの建設について、どのように考えているか伺います。

○こども未来部長

①基本構想計画の方針に基づき、今年度5月から武里団地を所有・管理しているUR都

市機構と協議を行い、賃借料は年間約1400万円と判明しました。建設費用は約22億円と試算されており、このほか運営費用も必要のため、現在精査を行っています。

○市長

②このたびのご提案についても検討したいと考えています。その上で、整備の方向性について、適切に判断します。

このほか

○緊急輸送道路と無電柱化の推進について

○一ノ割駅舎の橋上化及び周辺整備の推進について

○浸水対策について

高すぎる国保税は引き下げ、子どもの均等割免除を



並木 敏恵
議員



本市の国保会計は、県が運営主体となった2018年以降黒字となりました。アンケートでは、市政に望むことの第1位は「負担の引き下げ」です。本市は、県内他市と比較して所得が低いのに国保税が高すぎるのではないかと。特に所得に関わらず課税される

均等割が高すぎる。均等割を県平均並みに引き下げ、必要に必要な財源はいくらか。

「平均並み」とはならなくても一人1万円の引き下げは十分可能なので、市民の最も強い願いは負担の引き下げに踏み出してほしいが、どうか子どもの均等割軽減は、高

いから下げるということでなく、「子育て支援」「魅力創出」という観点で行われたいです。春日部でも検討を。

○健康保険部長

本市の国保加入者所得は40市中28位、国保税額は21位、所得割合は2方式課税の県内26市中一番低い割合です。均等割は40市中1位で、県平均並みに引き下げ、7億3千万円の財源が必要となります。

○市長

国民健康保険は、全国的に構造的な問題を抱えており、先行き不透明なことから、全体として負担増にならないように努めていきます。

子どもの均等割については、多子世帯について調査します。

このほか

○市長選公約の「武里地区再整備」は、高齢者が安心でき、若者が希望をもてるものに

庄和インターまでの
東埼玉道路の開通について



河井 美久
議員



現在、東埼玉道路の周辺地域では、商業施設や産業団地、大規模な住宅などの開発や計画が堅調に進展しています。

近隣市町においては、商業施設として、越谷レイクタウン地区の大型ショッピングセンターの出店や、松伏町ではゆめみ野団地など大規模住宅などが開発されています。産業団地としては、草加市や松伏町で整備が行われており、地域経済活動の好循環につながっています。

本市においても、東埼玉道路の整備に先駆け、産業施設や商業施設の立地が進められています。現在、庄和地区に大型ショッピングモールができ、その周辺にも各店舗が立ち並んでいます。

そこで、東埼玉道路が開通することによる相乗効果について伺います。

○建設部長
東埼玉道路が整備されるこ

とで、交通アクセスが格段に高まることや、通過車両が生活道路に迂回しなくなることで住環境がよくなること、沿線の産業団地・商業施設などの開発支援となること、また、災害時には代替路の確保となるなど、多くの相乗効果が得られる道路となります。

また、東埼玉道路整備によるストック効果としては、開通しますと「周辺人口の増加」「企業の進出」「雇用の促進」等が期待されるところです。

このほか
○赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業について

市長の選挙公約について



吉田 稔
議員



選挙公約については「市政全般に関わる内容」と「7つの地域の要望」の大きく2つに分かれていたと思います。

まず、「7つの地域の要望」については、各地域の皆さんの生の声として、ぜひとも市政に反映していただきたいと思

また、「市政全般に関わる内容」については、私自身、今定例会の代表質問や質疑、一般質問を見聞きする中で、石川市政の継続を多く感じ、物足りなさを感じています。会派で確認した項目は全部で48に上りましたが、この48項目について、岩谷市長ご自身は「岩谷市政オリジナルの新規事業」と「石川市政の継続事業」のどちらと考えているのか、それぞれの数をお示しください。

○市長
選挙公約における取り組みの新規および継続の件数についてですが、例えばこれまで

の取り組みを見直しや拡充をすることによって大きな変化が生まれ、新たな取り組みとして捉えることもできると思

います。そのため、現時点では一概に新規や継続の区別をつけることは難しいと思

デジタル・ガバメント
について



石川 友和
議員



日本社会のDX実現に向けた動きが本格化することになり、中でも政府は行政手続きにおけるデジタル化の遅れを問題視しており、デジタル技術による行政サービスの改善

要するにデジタル・ガバメントの実現を強力に推し進めようとしています。そこで以下伺います。

①現在の春日部市におけるデジタル化への取り組み状況について②市役所での全ての行政手続きをオンライン化することができないでしょうか③新たに新設した「デジタル庁」への職員の派遣は考えていないのでしょうか。

○総合政策部長

①市民向けのサービスでは、各種証明書のコンビニ交付、パソコンなどによる電子申請サービス、本庁、支所、公民館等へのWiFiの設置、ハザードマップなどの閲覧や道路の不具合などを投稿でき

るかすかべオラナビを導入しています。また、職員向けでは、財務会計システム、メールやスケジュール管理を行うグループウェアシステム、AIによる議事録作成システム、在宅勤務が行えるテレワークシステムを導入しています。

②国の「自治体DX推進計画」に沿って対応していきます。

○総務部長

③職員を派遣するため、申請手続きを行いました。

このほか

○子どもたちの安心・安全について

○体育施設について



デジタル庁への職員派遣（イメージ）

※デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を用いた変革のこと

議 会 人 事

今定例会において、議事の一部が次のとおり変更になりました。

また、令和3年10月17日付で、古沢耕作議員は、選挙立候補届出により失職しました。

厚生福祉委員会

委員長(新)佐藤 一

(旧)石川 友和

なお、佐藤一議員は、建設委員会から厚生福祉委員会へ所属変更となりました。

議会運営委員会

委員長(新)佐藤 一

(旧)石川 友和

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

委員長(新)佐藤 一

(旧)石川 友和

中心市街地まちづくり検討特別委員会

委員長(新)鬼丸 裕史

(旧)石川 友和

市立医療センター運営委員会委員

委員(新)水沼 日出夫

(旧)石川 友和

国民健康保険運営協議会委員

委員長(新)金子 進

(旧)石川 友和

議席番号の変更

今定例会において、次のとおり議席番号の変更がありました。

○石川 友和 議員

8番 ↓ 2番

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

11月22日

・令和3年12月定例会の運営について

12月23日

・令和4年第1回(1月)臨時会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

10月14日

・休会日の表記方法について
・議員提出議案の質疑・討論について
・政務活動費に係る規定等の見直しについて

11月9日

・市議会における押印の見直しについて
・議員提出議案の質疑・討論について

・政務活動費に係る規定等の見直しについて
・デジタル化とペーパーレス化について

11月18日

・代表質問の導入について
▽新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

10月13日

・新型コロナウイルス感染症対策について

11月4日

・新型コロナウイルス感染症対策の要望・提言について

11月10日

・新型コロナウイルス感染症対策の要望・提言について

・令和3年12月春日部市議会定例会の対応について

12月23日

・令和4年第1回(1月)臨時会の対応について

▽中心市街地まちづくり検討特別委員会

12月24日

・県議会への要望活動について
▽地域拠点整備検討特別委員会

12月27日

・県議会への要望活動について
▽広報広聴委員会

12月23日

・議会だより第66号について

1月6日

・議会だより第66号について

編集後記

16年ぶりの市長交代を受けて開会されました12月議会は、新市長の所信表明や選挙公約などに質疑が集中しました。

これまでの継続性と、これからの変化の方向性の確認です。市長の交代に伴い、市議会も変わろうとしています。代表質問制度の導入、議員定数削減条例の議決、市議会初の附帯決議など、議会改革はその他の項目についても継続協議中です。春日部市発展のために、市議会としても自己改革をしている様子を読み取っていただければと思います。

また、今回の議会だよりは、新市長体制になって初めての報告になり、お伝えすべきことが多かったため、十分にお伝えしきれなかった部分もあったかもしれません。毎回、市民の皆さまにとって、どのような編集が分かりやすく読みやすいのか、苦心しながら製作していますが、紙面の都合上、掲載しきれなかった情報にしましては、市議会ホームページでも掲載をしていますので、そちらもぜひご覧になってください。

広報広聴委員会

委員長	永田 飛鳳
副委員長	坂巻 勝則
委員	榛野 博
委員	今尾 安徳
委員	金子 進
委員	山口 剛一
委員	木村 圭一
委員	鈴木 一利
オブザーバー	
議長	栗原 信司
副議長	水沼日出夫

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116

4月17日(日)は 春日部市議会議員 一般選挙です

皆さんの代表を選ぶ
大切な選挙です
忘れずに投票に
行きましょう

